

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道2号 <small>とのみ</small> 富海拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>やまぐち しゅうなん へ た</small> 山口県周南市戸田 至： <small>やまぐち ほうふ とのみ</small> 山口県防府市富海			延長	3.6 km	
事業概要	<p>一般国道2号は、<small>おおさか</small> 大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、<small>きたきゅうしゅう</small> 北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p><small>とのみ</small> 富海拡幅は、山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした延長3.6kmの道路整備事業である。</p>					
H23年事業化	S48年度都市計画決定 (H22年度変更)	H24年度用地着手	H26年度工事着手			
全体事業費	約90億円	事業進捗率	約22%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	44,600~46,600 台/日					
費用対効果 分析結果	<small>B/C</small> (事業全体) 3.0 (残事業) 4.3	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 64/91億円 (事業費：53/80億円 維持管理費：11/11億円)	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 279/279億円 (走行時間短縮便益：261/261円 走行費用減少便益：17/17億円 交通事故減少便益：1.2/1.2億円)	基準年 平成27年		
感度分析の結果	<p><small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=2.1~3.8 (交通量±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=3.1~5.5 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.9~3.2 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.0~4.7 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.9~3.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.2~4.5 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【防長交通等】</p> <p>②物流効率化の支援 ・防府市から<small>とくやまくたまつ</small> 徳山下松港（国際拠点港湾）へのアクセスが向上</p> <p>③個性ある地域の形成 ・道の駅「ソレーネ周南」（H26.8-H27.7観光入込客数84.9万人）、防府天満宮（H25観光入込客数73.8万人）など観光施設へのアクセス向上</p> <p>④災害への備え ・山口県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成27年10月）において緊急輸送道路に位置づけ有り ・緊急輸送道路である山陽自動車道の代替路線を形成する</p> <p>⑤地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる</p>					

関係する地方公共団体等の意見

山口県知事の意見：異存なし。

引き続き、早期完成に向けて、コスト縮減等を配慮の上、事業の促進に努めていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

周南市と防府市を結ぶ国道2号は、沿道地域の開発に伴う交通量の増加により、著しい渋滞や交通事故が発生、東西の移動を担う道路として4車線化整備を計画的に実施してきている。

平成25年5月の戸田拡幅の完成により、周南市と防府市を結ぶ幹線道路のうち富海拡幅区間のみが実質の2車線区間となっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成27年3月末で用地買収は約38%完了している。
- ・平成27年3月末で事業進捗は約22%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。